

事例7

< 事例概要 >

大腿骨接合術

- ① 80 歳代、体重30 kg台、関節リウマチがある患者。慢性的なDIC に対し、低分子ヘパリンを投与中（休薬不明）。血小板数4 万/ μ ℓ 台。
- ② 大腿骨転子部骨折に対し、保存的治療を行い、濃厚血小板を投与。血小板数13 万/ μ ℓ 台となり、受傷約3 週間後に骨接合術（髓内釘）を施行。
- ③ 血圧80 mmHg台となり、昇圧薬を数回投与。術中出血量150 g。退室時血圧170 mmHg台、心拍数140回/分台。
- ④ 病棟帰室約30 分後、創部から出血が持続、血圧80 mmHg台、Hb 6 g/dℓ 台。赤血球液を投与し、血圧100 mmHg台。約5 時間後、出血持続と血圧低下あり、ICU転棟。帰室約10 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。